

障害福祉サービス提供事業所等調査

和歌山県全域集計結果(継続入所系)

15. 施設入所支援

県全域集計

継続入所系

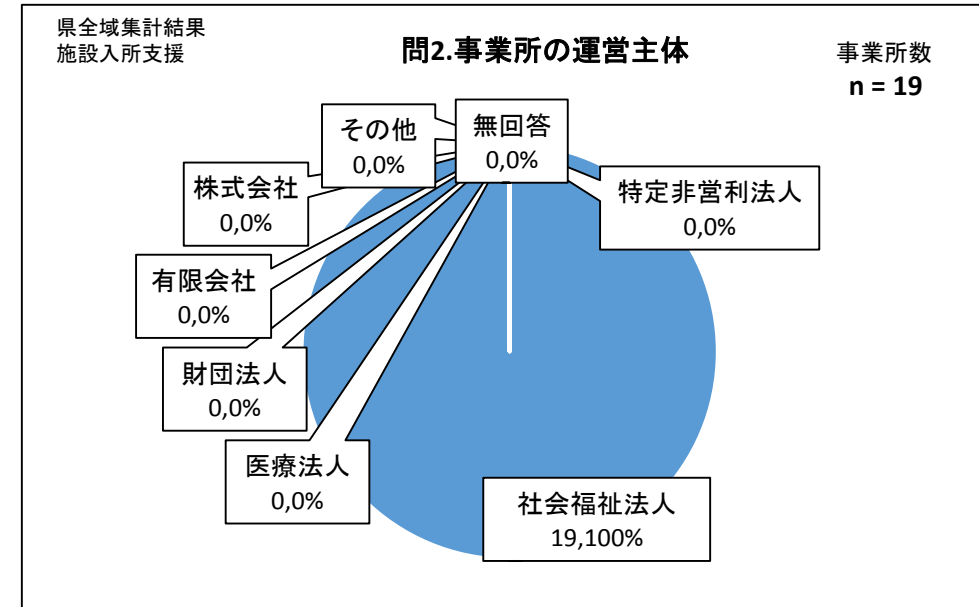
配布数	(有効)回答数	(有効)回答率
26	19	73.1%

15. 施設入所支援

問2	運営主体	「社会福祉法人」100%。
問3	所在地	「和歌山・西牟婁圏域」各32.0%、「東牟婁圏域」16.0%、「日高圏域」10%、「伊都・那賀圏域」各5%、「海草・有田圏域」は各0%。
問4	契約者数	「31～40人」が36.8%、「41～50人」と「51人以上」が21.1%、「21～30人」15.8%、「100人以上」が5.3%。
問5	職員体制	「31～60人」53.0%と多く、「1～30人」が37.0%、「61～90人」と「91～120人」が各5%、「121～150人」0%。
問6	医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否	「可能」は37.0%、「不可能」は63.0%。
問7	提供可能な医療的ケア	「服薬管理」100%、「胃ろう・留置カテーテル」各85.7%、「口腔鼻腔吸引・自己導尿」各71.4%の順で多い。他のケアは少数～0%。
問8	医療的ケアを受けている年齢層	「40～64歳」が82.2%と多く、「18～39歳」8.4%、「65歳以上」は9.4%と少数。
問9	障害者手帳と等級	身体障害者手帳は「1級」が52.5%と大半を占めている。「2級」は11.1%。療育手帳は「無し」が11.7%と多く、「A1」3.6%、「A2」4.2%、B所持者は少数。精神保健手帳は「無し」が大半を占めている。
問10	障害支援区分	「区分6」が68.4%と大半を占めている。次いで「区分5」、「区分4」、「区分3」の順である。
問11	提供している医療的ケア内容	「服薬管理」が69.8%と多い。「胃ろう」8.4%、「口腔・鼻腔吸引」6.5%。他のケアは少数～0%。
問12	超重症児・準超重症児	「準超重症児」が100%。「超重症児」0%。
問13	医療的ケアが必要な方の利用についての課題	「看護師の確保困難」と「提供できる医療的ケアが限定されている」が各71.4%と多い。「2・3・5」については、半数に近い回答がある。
問14	医療的ケアが必要な方が利用できない理由	「担当看護師の確保ができない」50%、「利用対象としていない」41.7%。他の理由についても少数から半数程の回答がある。
問15-①	災害対策マニュアルの定期的な見直し	「行っている」89%、「行っていない」11%、他項目は各0%。
問15-②	被災時に備蓄をしている物	「食料」94.7%、「衛生材料」84.2%と多く、次いで、「非常用電気」、「薬」の順である。他の物品については少数で、0%の物もある。
問16	医療的ケアが必要な障害児者が安心して生活する為の改善点	「介護職員の医療的ケア研修時間の緩和と機会を増やすべき」が68.4%、「看護師確保の報酬基準を改善すべき」と「圏域内に緊急時に対応可能な地域医療機関の確保」が各57.9%と多い。「4・5」についても回答がある。
	傾向と評価	事業所の運営主体は社会福祉法人が100%で、所在地は伊都・那賀・和歌山・日高・西牟婁・東牟婁圏域となっている。和歌山・西牟婁圏域が各32%と多い。医療的ケアが必要な方へのサービス提供状況は、可能が37%、不可能が63%と半数を超えている。提供可能な医療的ケアは、服薬管理が69.8%と大半を占め、胃ろう8.4%、口腔鼻腔吸引6.5%の順である。医療的ケアが必要な方の年齢層は、40～64歳が82.2%と最も多い。準重症児が4名である。利用についての課題は、看護師の確保困難と提供できる医療的ケアが限定されているが各71.4%と多い。

問2. 事業所の運営主体

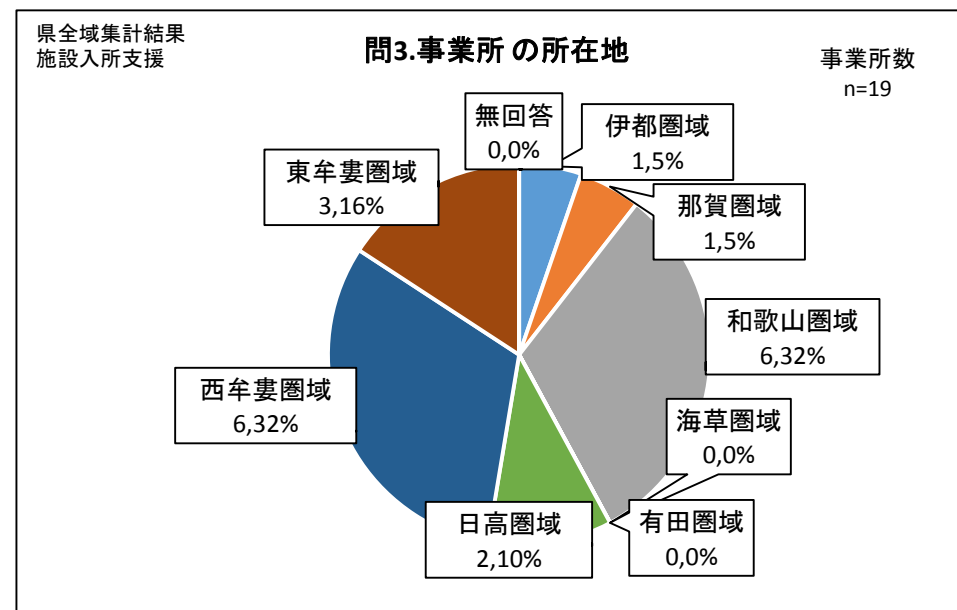
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
社会福祉法人	1	1	6	0	0	2	6	3	19	100.0%
財団法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
特定非営利法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
有限会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
医療法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	1	1	6	0	0	2	6	3	19	100.0%



問2	運営主体	「社会福祉法人」100%。
----	------	---------------

問3. 事業所の所在地

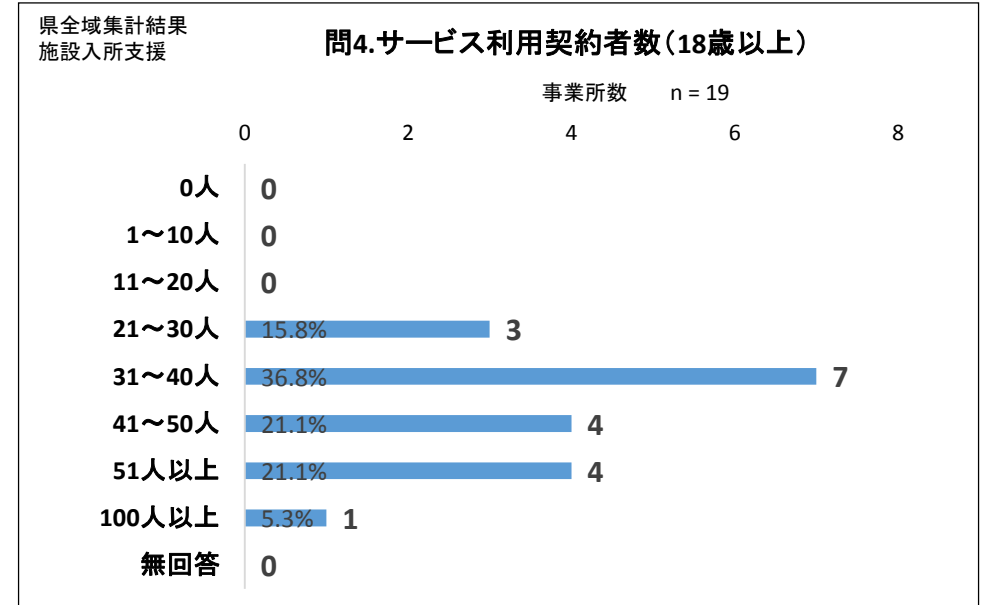
所在地	事業所数	%
伊都圏域	1	5.3%
那賀圏域	1	5.3%
和歌山圏域	6	31.6%
海草圏域	0	0.0%
有田圏域	0	0.0%
日高圏域	2	10.5%
西牟婁圏域	6	31.6%
東牟婁圏域	3	15.8%
無回答	0	0.0%
事業所数合計	19	100.0%



問3	所在地	「和歌山・西牟婁圏域」各32%、「東牟婁圏域」16%、「日高圏域」10%、「伊都・那賀圏域」各5%、「海草・有田圏域」は各0%。
----	-----	--

問4. サービスを利用している契約者数(18歳以上)

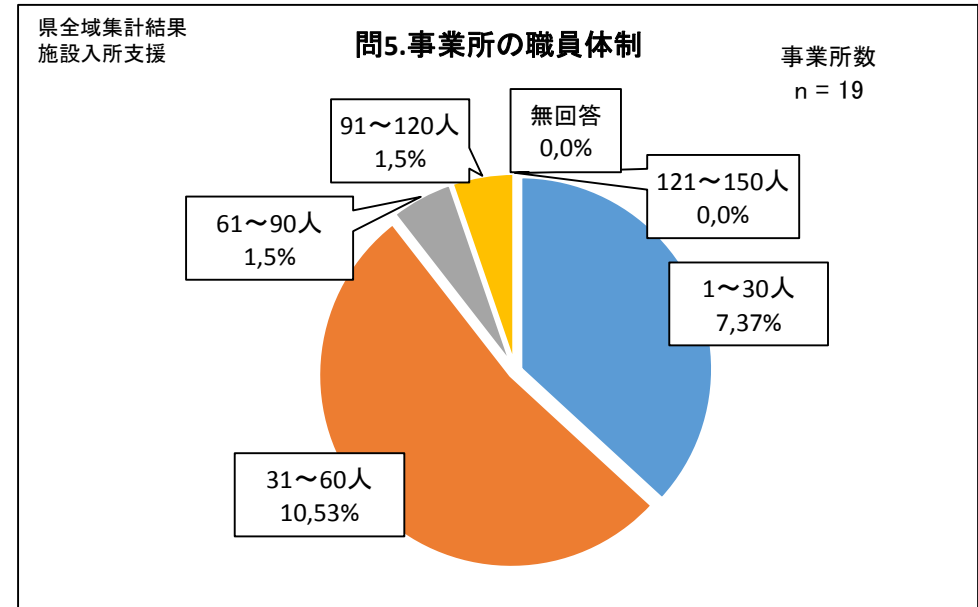
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
0人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
1～10人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
11～20人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
21～30人	0	0	2	0	0	1	0	0	3	15.8%
31～40人	0	0	1	0	0	0	5	1	7	36.8%
41～50人	0	1	0	0	0	0	1	2	4	21.1%
51人以上	1	0	3	0	0	0	0	0	4	21.1%
100人以上	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5.3%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	1	1	6	0	0	2	6	3	19	100.0%



問4	契約者数(18歳以上)	「31～40人」が36.8%、「41～50人」と「51人以上」が21.1%、「21～30人」15.8%、「100人以上」が5.3%。
----	-------------	--

問5. 事業所の職員体制

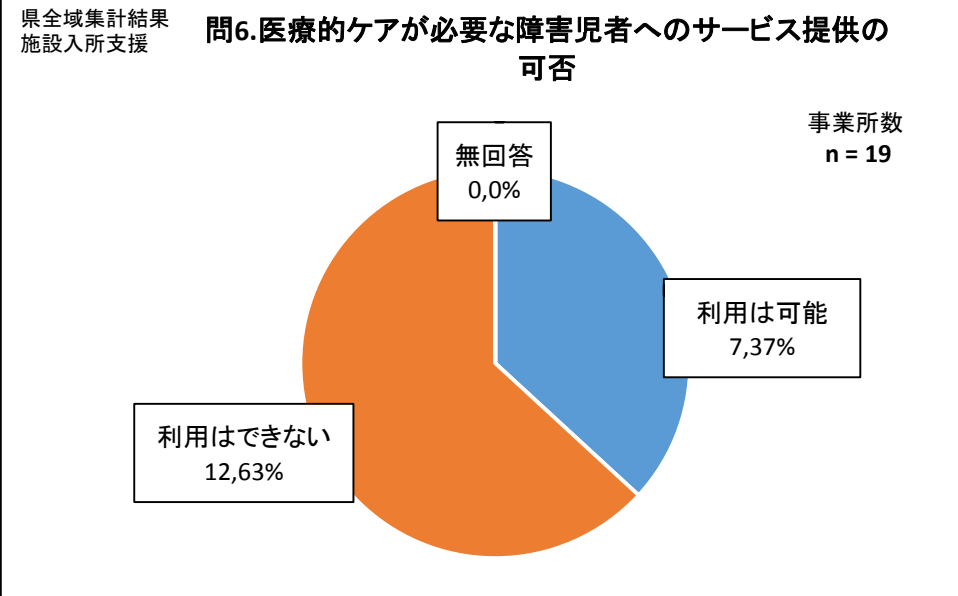
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1～30人	0	1	3	0	0	1	1	1	7	36.8%
31～60人	0	0	3	0	0	0	5	2	10	52.6%
61～90人	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5.3%
91～120人	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5.3%
121～150人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	1	1	6	0	0	2	6	3	19	100.0%



問5	職員体制	「31～60人」53%と多く、「1～30人」37%、「61～90人」・「91～120人」が各5%、「121～150人」0%。
----	------	--

問6. 医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否

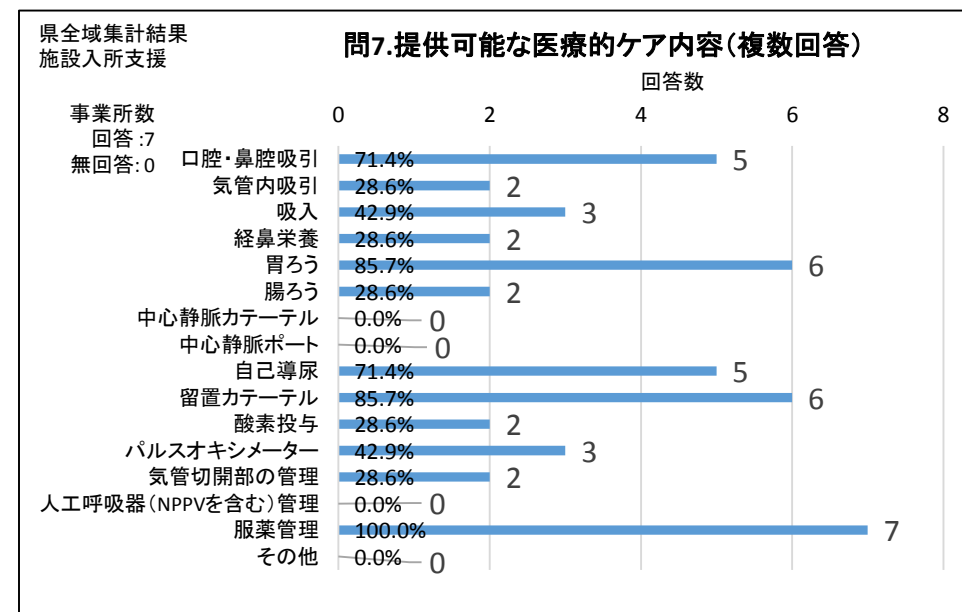
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
利用は可能	1	0	3	0	0	1	2	0	7	36.8%
利用はできない	0	1	3	0	0	1	4	3	12	63.2%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	1	1	6	0	0	2	6	3	19	100.0%



問6	医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否	「可能」が37%、「不可能」は63%。
----	--------------------------	---------------------

問7. 提供可能な医療的ケアの内容(複数回答)

		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
吸引	口腔・鼻腔吸引	1	0	2	0	0	1	1	0	5	71.4%
	気管内吸引	0	0	1	0	0	0	1	0	2	28.6%
	吸入	1	0	1	0	0	0	1	0	3	42.9%
経管栄養	経鼻栄養	1	0	1	0	0	0	0	0	2	28.6%
	胃ろう	1	0	3	0	0	1	1	0	6	85.7%
	腸ろう	0	0	2	0	0	0	0	0	2	28.6%
中心静脈 栄養	カテーテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	ポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
導尿	自己導尿	1	0	3	0	0	0	1	0	5	71.4%
	留置カテーテル	1	0	3	0	0	0	2	0	6	85.7%
	酸素投与	1	0	1	0	0	0	0	0	2	28.6%
	パルスオキシメーター	0	0	1	0	0	1	1	0	3	42.9%
	気管切開部の管理	0	0	1	0	0	0	1	0	2	28.6%
	人工呼吸器(NPPVを含む)管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	服薬管理	1	0	3	0	0	1	2	0	7	100.0%
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	回答事業所数	1	0	3	0	0	1	2	0	7	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業所数合計	1	0	3	0	0	1	2	0	7		

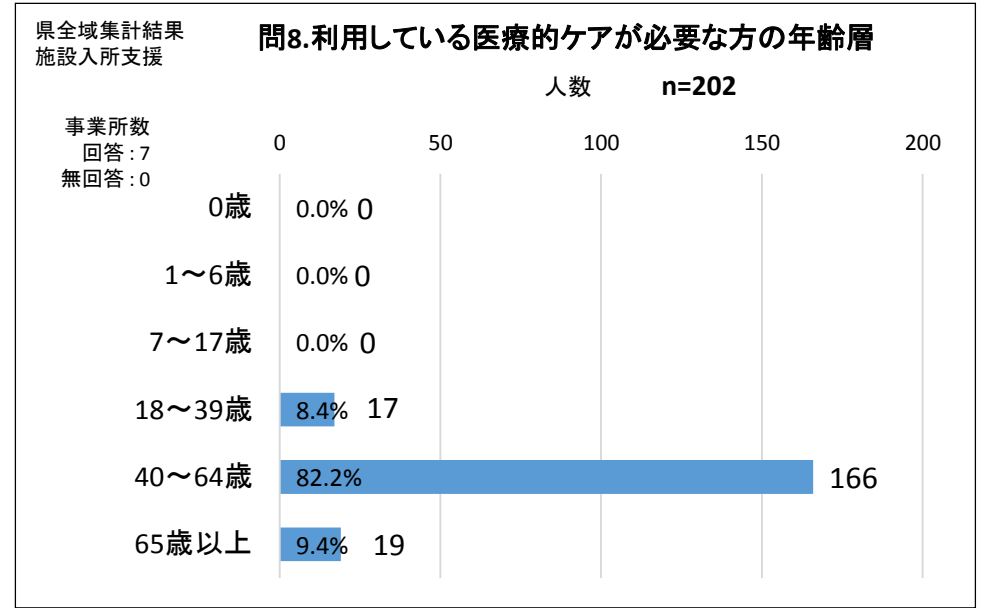


問7 提供可能な医療的ケア 「服薬管理」100%、「胃ろう・留置カテーテル」各85.7%、「口腔鼻腔吸引・自己導尿」各71.4%の順で多い。他のケアは少数～0%。

問8. 利用している医療的ケアが必要な方の年齢層別利用者数(複数回答)

※(圏域事業所の合計人数)(18歳以上)

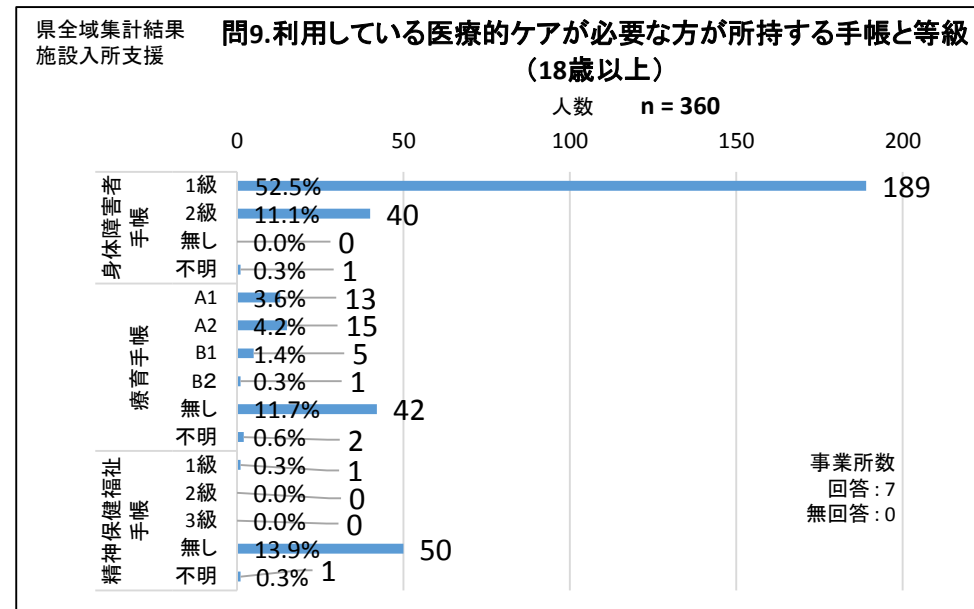
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
1～6歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
7～17歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
18～39歳	1	0	12	0	0	0	4	0	17	8.4%
40～64歳	22	0	98	0	0	1	45	0	166	82.2%
65歳以上	0	0	19	0	0	0	0	0	19	9.4%
合計人数	23	0	129	0	0	1	49	0	202	100.0%
回答事業所数	1	0	3	0	0	1	2	0	7	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	1	0	3	0	0	1	2	0	7	



問8	医療的ケアを受けている年齢層 (18歳以上)	「40～64歳」が82.2%と多く、「18～39歳」8.4%、「65歳以上」は9.4%と少数。
----	---------------------------	---

問9. 医療的ケアが必要な方の障害者手帳と等級※(圏域事業所の合計人数)(18歳以上)

		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
身体障害者 手帳	1級	29	0	108	0	0	0	52	0	189	52.5%
	2級	17	0	16	0	0	0	7	0	40	11.1%
	無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	不明	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.3%
療育手帳	A1	2	0	10	0	0	1	0	0	13	3.6%
	A2	2	0	13	0	0	0	0	0	15	4.2%
	B1	1	0	4	0	0	0	0	0	5	1.4%
	B2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%
	無し	42	0	0	0	0	0	0	0	42	11.7%
	不明	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0.6%
精神保健福祉 手帳	1級	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.3%
	2級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	3級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	無し	50	0	0	0	0	0	0	0	50	13.9%
	不明	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.3%
	合計人数	146	0	154	0	0	1	59	0	360	100.0%
回答事業所数	1	0	3	0	0	1	2	0	7		
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業所数合計	1	0	3	0	0	1	2	0	7		

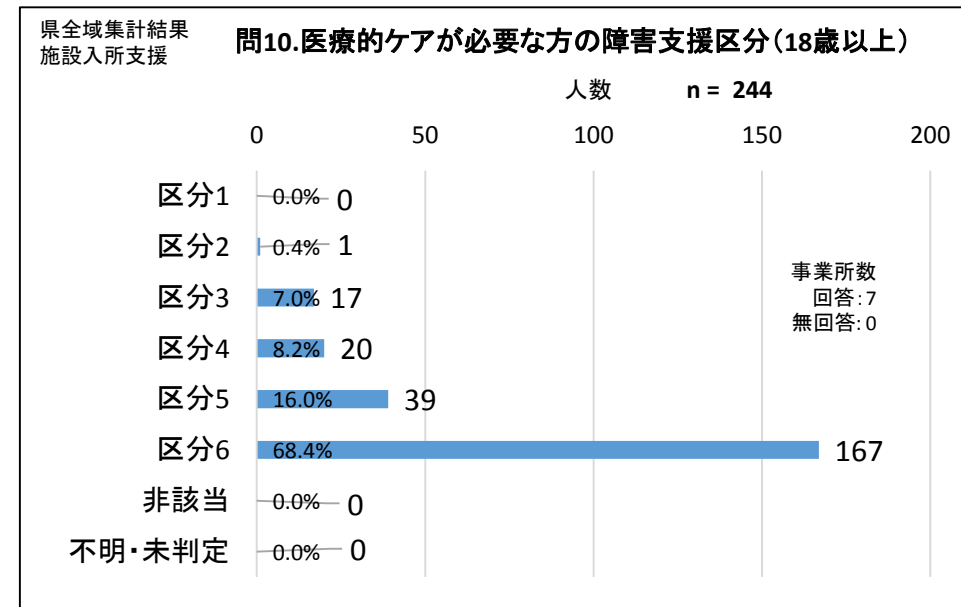


問9	障害者手帳と等級	身体障害者手帳は「1級」が52.5%と大半を占めている。「2級」は11.1%。療育手帳は「無し」が11.7%と多く、「A1」3.6%、「A2」4.2%、B所持者は少数。 精神保健手帳は「無し」が大半を占めている。
----	----------	---

問10. 医療的ケアが必要な方の障害者総合支援法による障害支援区分(程度区分)

※(圏域事業所の合計人数)(18歳以上)

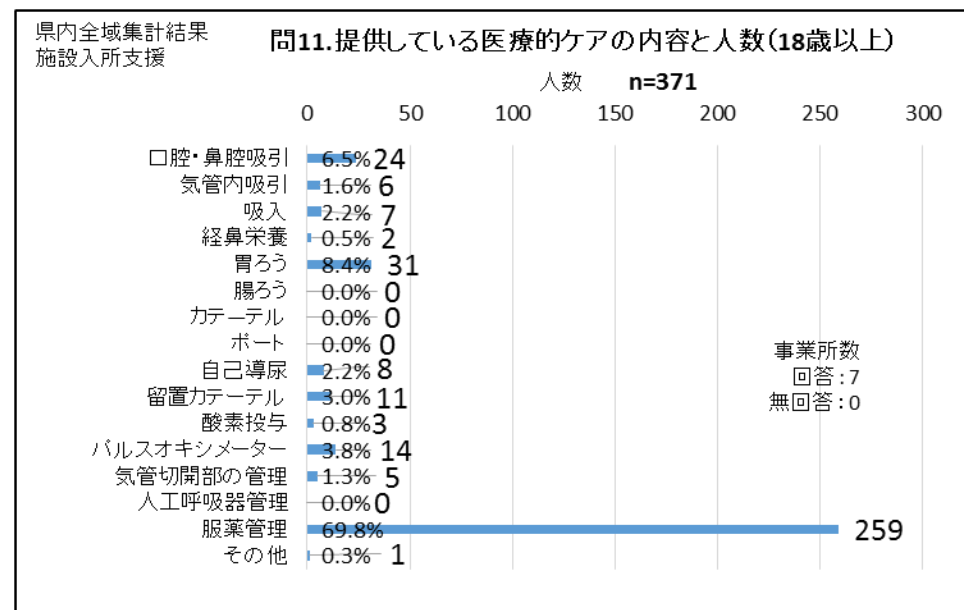
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.4%
区分3	0	0	16	0	0	0	1	0	17	7.0%
区分4	2	0	16	0	0	0	2	0	20	8.2%
区分5	3	0	27	0	0	0	9	0	39	16.0%
区分6	45	0	69	0	0	1	52	0	167	68.4%
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
不明・未判定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計人数	50	0	129	0	0	1	64	0	244	100.0%
回答事業所数	1	0	3	0	0	1	2	0	7	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	1	0	3	0	0	1	2	0	7	



問10	障害支援区分 (18歳以上)	「区分6」が68.4%と大半を占めている。次いで「区分5」、「区分4」、「区分3」の順である。
-----	-------------------	---

問11. 医療的ケアが必要な方に提供しているサービス内容と利用者数※(圏域事業所の合計人数)
(18歳以上)

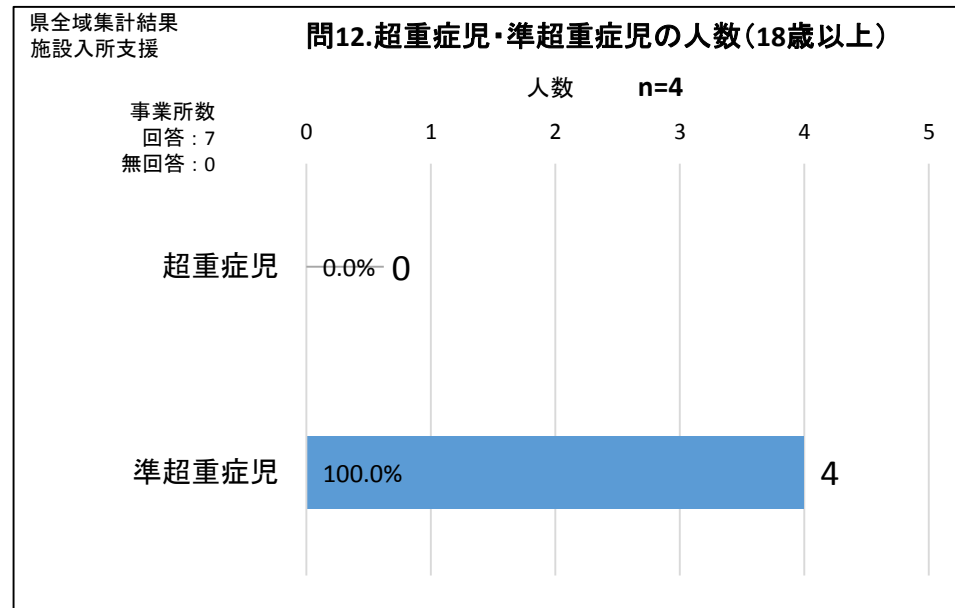
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
吸引	口腔・鼻腔吸引	4	0	13	0	0	0	7	0	24	6.5%
	気管内吸引	0	0	2	0	0	0	4	0	6	1.6%
経管栄養	吸入	0	0	7	0	0	0	0	0	7	2.2%
	経鼻栄養	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0.5%
	胃ろう	3	0	17	0	0	1	10	0	31	8.4%
	腸ろう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
中心静脈 栄養	カテーテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	ポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
導尿	自己導尿	0	0	8	0	0	0	0	0	8	2.2%
	留置カテーテル	5	0	3	0	0	0	3	0	11	3.0%
	酸素投与	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0.8%
	パルスオキシメーター	0	0	0	0	0	0	14	0	14	3.8%
	気管切開部の管理	0	0	1	0	0	0	4	0	5	1.3%
	人工呼吸器管理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	服薬管理	50	0	129	0	0	0	80	0	259	69.8%
	その他	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.3%
	合計人数		65	0	181	0	0	1	124	0	371
回答事業所数		1	0	3	0	0	1	2	0	7	
無回答事業所数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計		1	0	3	0	0	1	2	0	7	



問11	提供している医療的ケア内容 (18歳以上)	「服薬管理」が69.8%と多い。「胃ろう」8.4%、「口腔・鼻腔吸引」6.5%。他のケアは少数～0%。
-----	--------------------------	---

問12. 超重症児・準超重症児の方の人数(18歳以上)

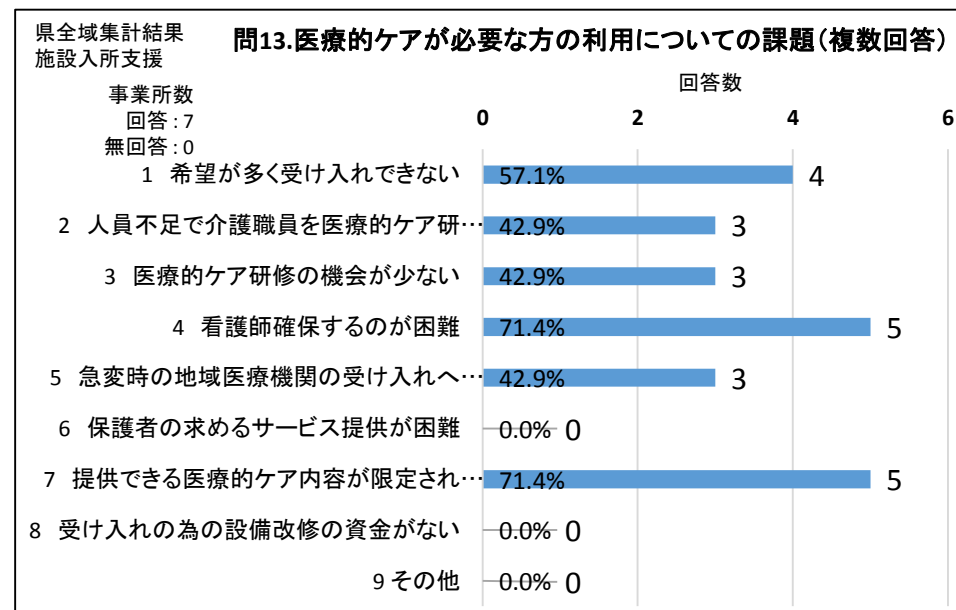
	県全域合計	%
超重症児	0	0.0%
準超重症児	4	100.0%
合計人数	4	100.0%
回答事業所数	7	
無回答事業所数	0	
事業所数合計	7	



問12	超重症児・準超重症児 (18歳以上)	「準超重症児」100%。「超重症児」0%。
-----	-----------------------	-----------------------

問13. 医療的ケアが必要な方の利用について課題となっている内容(複数回答)

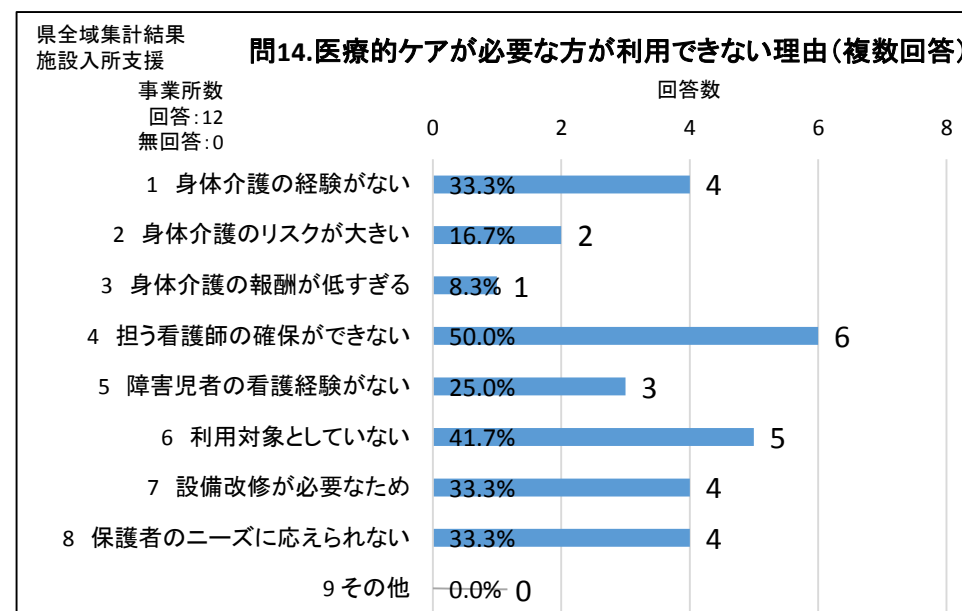
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1.希望が多く受け入れできない	1	0	1	0	0	1	1	0	4	57.1%
2.人員不足で介護職員を医療的ケア研修に出せない	0	0	1	0	0	1	1	0	3	42.9%
3.医療的ケア研修の機会が少ない	0	0	1	0	0	1	1	0	3	42.9%
4.看護師確保するのが困難	0	0	3	0	0	1	1	0	5	71.4%
5.急変時の地域医療機関の受け入れへの不安	1	0	0	0	0	0	2	0	3	42.9%
6.保護者の求めるサービス提供が困難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
7.提供できる医療的ケア内容が限定されている	1	0	3	0	0	1	0	0	5	71.4%
8.受け入れの為の設備改修の資金がない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
9.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
回答事業所数	1	0	3	0	0	1	2	0	7	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	1	0	3	0	0	1	2	0	7	



問13	医療的ケアが必要な方の利用についての課題	「看護師の確保困難」と「提供できる医療的ケアが限定されている」が各71.4%と多い。「2・3・5」については、半数に近い回答がある。
-----	----------------------	--

問14. 医療的ケアが必要な方が利用できない理由(複数回答)

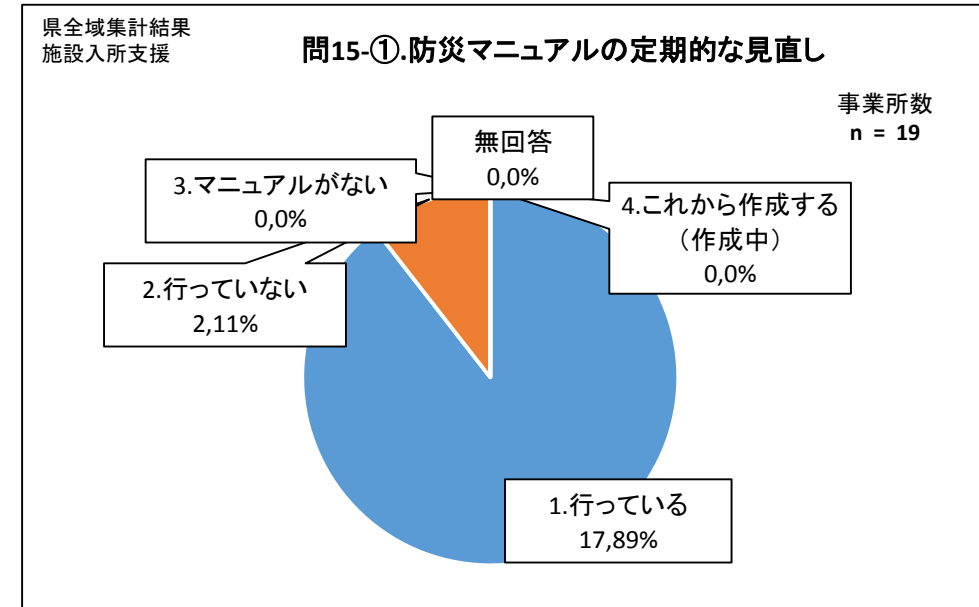
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1.医療的ケアが必要な障害児者の 身体介護の経験がない	0	0	1	0	0	0	1	2	4	33.3%
2.医療的ケアが必要な障害児者の 身体介護はリスクが大きい	0	0	0	0	0	0	1	1	2	16.7%
3.医療的ケアが必要な障害児者の 身体介護の報酬が低すぎる	0	1	0	0	0	0	0	0	1	8.3%
4.医療的ケアを担う看護師の確保が できない	0	1	1	0	0	0	3	1	6	50.0%
5.医療的ケアが必要な障害児者の 看護経験がない	0	0	0	0	0	0	2	1	3	25.0%
6.事業所として医療的ケアが必要な 障害児者を利用対象としていない	0	0	2	0	0	1	1	1	5	41.7%
7.医療的ケアを実施するために設備 改修が必要なため	0	0	2	0	0	0	2	0	4	33.3%
8.保護者が求める看護(介護)ニー ズに応えられない	0	0	1	0	0	0	2	1	4	33.3%
9 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
回答事業所数	0	1	3	0	0	1	4	3	12	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	0	1	3	0	0	1	4	3	12	



問14	医療的ケアが必要な方が利用できない理由	「担う看護師の確保ができない」50%、「利用対象としていない」41.7%。他の理由についても少数から半数に近い回答がある。
-----	---------------------	---

問15-①.事業所の災害対策マニュアルの定期的な見直しについて

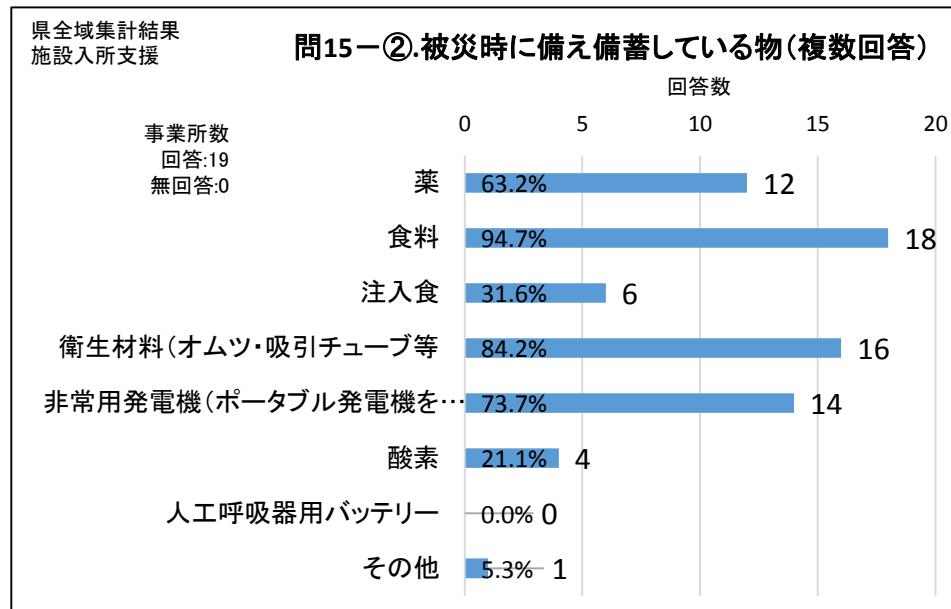
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1.行っている	1	1	5	0	0	2	6	2	17	89.5%
2.行っていない	0	0	1	0	0	0	0	1	2	10.5%
3.マニュアルがない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
4.これから作成する(作成中)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	1	1	6	0	0	2	6	3	19	100.0%



問15-①	災害対策マニュアルの定期的な見直し	「行っている」89%、「行っていない」11%、他項目は各0%。
-------	-------------------	---------------------------------

問15-②.被災に備え備蓄している物(複数回答)

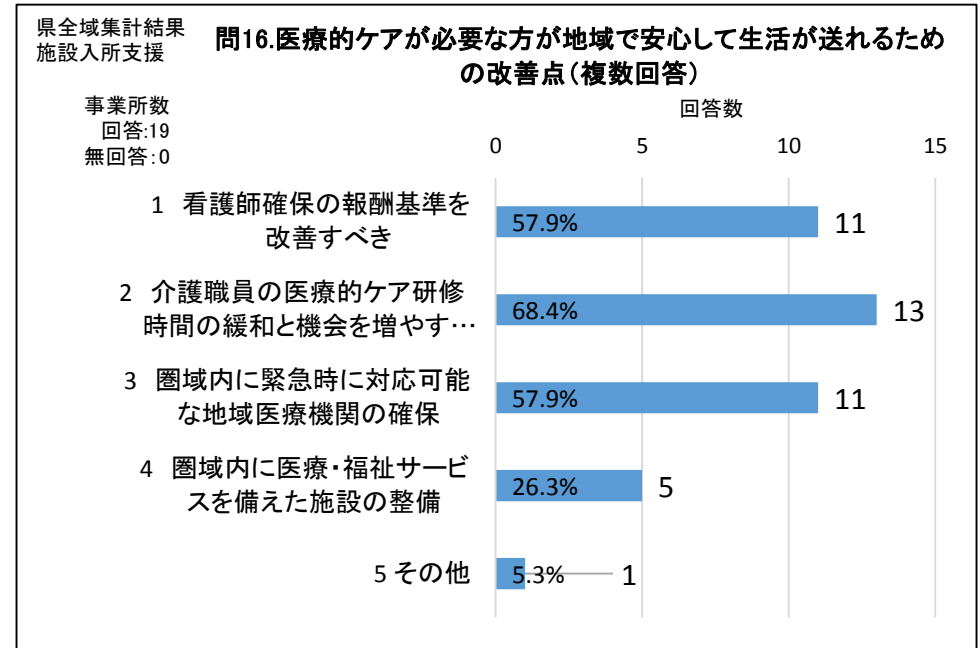
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
薬	1	0	4	0	0	1	3	3	12	63.2%
食料	1	1	6	0	0	2	5	3	18	94.7%
注入食	1	0	4	0	0	0	1	0	6	31.6%
衛生材料(オムツ・吸引 チューブ等)	1	1	5	0	0	1	5	3	16	84.2%
非常用発電機(ポータブル 発電機を含む)	1	1	3	0	0	2	4	3	14	73.7%
酸素	1	0	2	0	0	0	1	0	4	21.1%
人工呼吸器用バッテリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	5.3%
回答事業所数	1	1	6	0	0	2	6	3	19	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	1	1	6	0	0	2	6	3	19	



問15-②	被災時用に備蓄をしている物	「食料」94.7%、「衛生材料」84.2%と多く、次いで、「非常用電気」、「薬」の順である。他の物品については少数で、0%の物もある。
-------	---------------	---

問16. 医療的ケアが必要な方が地域で安心して生活を送れるようになるための改善点(複数回答)

	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域合計	%
1.医療的ケアに従事する看護師を安定的に確保できるよう診療報酬を改善すべき	0	0	4	0	0	0	4	3	11	57.9%
2.医療的ケアが実施できる介護職員が増えるよう、介護職員の医療的ケア研修時間の緩和、研修機会を増やすべき	0	1	5	0	0	1	5	1	13	68.4%
3.一定の圏域内に緊急時に対応可能な地域医療機関を確保すべき	1	0	4	0	0	1	3	2	11	57.9%
4.圏域内に医療・訪問看護・通園事業・居宅介護、短期入所、移動支援、相談支援等の機能を備えた施設の整備をすべき	1	0	3	0	0	0	0	1	5	26.3%
5 その他	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5.3%
回答事業所数	1	1	6	0	0	2	6	3	19	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	1	1	6	0	0	2	6	3	19	



問16	医療的ケアが必要な方が安心して生活する為の改善点	「介護職員の医療的ケア研修時間の緩和と機会を増やすべき」が68.4%、「看護師確保の報酬基準を改善すべき」と「圏域内に緊急時に対応可能な地域医療機関の確保」が各57.9%と多い。「4・5」についても回答がある。
-----	--------------------------	---

傾向と評価	事業所の運営主体は社会福祉法人が100%で、所在地は伊都・那賀・和歌山・日高・西牟婁・東牟婁圏域となっている。和歌山・西牟婁圏域が各32%と多い。 医療的ケアが必要な方へのサービス提供状況は、可能が37%、不可能が63%と半数を超えている。提供可能な医療的ケアは、服薬管理が69.8%と大半を占め、胃ろう 8.4%、口腔鼻腔吸引 6.5%の順である。医療的ケアが必要な方の年齢層は、40～64歳が82.2%と最も多い。準重症児が4名である。利用についての課題は、看護師の確保困難と提供できる医療的ケアが限定されているが各71.4%と多い。
-------	--